
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第7週
(2月11日～2月17日)

- * 2008年2月20日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2008年1月)の疾患も掲載しています。

平成20(2008)年2月21日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話 : 03-3363-3213(直通)
FAX : 03-5332-7365
e-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年7週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		4週	5週	6週	7週	年累計	7週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ベスト							
	マールブルグ病							
二類	ラッサ熱							
	急性灰白髄炎							
	結核	67	53	74	37	424	213	2520
	ジフテリア							
三類	重症急性呼吸器症候群 *							
	コレラ							1
	細菌性赤痢	2	1			9	2	40
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1			3	12	88
	腸チフス	1	1			3		4
四類	パラチフス					1	1	3
	E型肝炎	1				1	1	6
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	2			4	5	28
	エキノкокクス症							3
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病			1		4	2	37
	デング熱			1		3	1	8
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							1
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
マラリア	1				3		4	
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	6	3		11	6	97	
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		4週	5週	6週	7週	年累計	7週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	8	2	4	5	25	10	94
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		2		1	4		28
	急性脳炎 **	2		1		4	4	33
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病						2	15
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1	5		12
	後天性免疫不全症候群	15	12	13	7	66	11	137
	ジアルジア症		1			2		6
	髄膜炎菌性髄膜炎							1
	先天性風しん症候群							
	梅毒	5	3		1	14	2	71
	破傷風					2		5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			1		7
風しん	2	2		3	7	7	61	
麻しん	32	46	50	57	211	435	2119	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2008/2/20集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 37件 肺結核26件、その他11件で、推定感染地は国内36件、韓国1件であった。年齢は5歳未満1件、10歳代1件、20歳代2件、30歳代5件、40歳代8件、50歳代4件、60歳代7件、70歳代3件、80歳代6件であった。70歳代1件の死亡例が報告されていた。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 5件 腸管アメーバ症3件、腸管外アメーバ症2件で、推定感染地は国内4件、韓国1件、推定感染経路は性的接触3件(同性間1件、性別不明2件)、飲食物による経口感染1件、不明1件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型で、推定感染地は東南アジア。異性間性的接触による感染が疑われている。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 G群で、患者は60歳代の死亡例。先行する膝の痛みとの関連が疑われている。

後天性免疫不全症候群 7件 すべて無症候キャリアで、推定感染地は国内6件、不明1件、推定感染経路はすべて性的接触(同性間5件、異性間2件)であった。

梅毒 1件 無症候梅毒で、推定感染経路は異性間性的接触であった。

風しん 3件 検査診断例1件、臨床診断例2件で、性別は男性1件、女性2件、年齢は5歳未満1件、10歳代1件、30歳代1件、風しん含有ワクチン接種歴は1回2件、2回1件であった。

麻しん 57件 麻しん(検査診断例)15件、麻しん(臨床診断例)36件、修飾麻しん(検査診断例)6件で、年齢は10歳未満13件(うち5歳未満7件)、10歳代15件、20歳代24件、30歳代5件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は無し25件、1回12件、2回2件、不明18件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年7週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		4週	5週	6週	7週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	27	16	23	15	0.10	149	150
	咽頭結膜熱	16	25	39	19	0.13		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	285	277	361	307	2.06		
	感染性胃腸炎	1,366	1,499	1,589	1,612	10.82		
	水痘	225	159	176	157	1.05		
	手足口病	12	9	10	5	0.03		
	伝染性紅斑	30	27	22	17	0.11		
	突発性発しん	90	79	105	75	0.50		
	百日咳	3	2	2	0	0.00		
	ヘルパンギーナ	3	3	3	2	0.01		
	流行性耳下腺炎	26	32	29	48	0.32		
	不明発しん症 (注1)	10	6	9	5	0.03		
MCLS (川崎病) (注1)	3	6	0	0	0.00			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	2,475	3,052	2,371	1,568	5.44	288	290
眼科	急性出血性結膜炎	0	3	2	1	0.03	38	39
	流行性角結膜炎	8	16	16	18	0.47		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	0	0	0	0.00	23	24
	無菌性髄膜炎	0	0	0	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	2	2	6	5	0.22		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2008/2/20集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS (川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、4週連続で微増した。2007年12月のピーク時のレベルには及ばないが、2007年以前の同時期の傾向とは異なっており、今後の推移に注意が必要である。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は、過去5年平均の半分程度の低いレベルで推移している。
- ・百日咳の定点当たり報告数は、比較的報告が多かった昨年とほぼ同レベルで推移していたが、第7週の報告はなかった。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、2週連続して減少しており、今シーズンは2007年第51週と2008年第5週の2つの小ピークを形成しているように見える。このまま終息に向かうのかどうか、今後の推移に注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

西多摩保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎は便検査でほとんどロタウイルス陽性。

* インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年7週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	1			5	4			1		
～11か月	5		3	76	8			37		
1歳	8		4	229	33	2		29		1
2歳		5	8	133	25			6		
3歳		5	26	109	21	2	1			
4歳		5	37	136	23	1	2	1		
5歳	1	2	50	134	17		4			
6歳			47	95	11		4	1		
7歳			34	85	4		3			
8歳			25	69	4		2			
9歳		1	20	65	1					
10～14歳			24	157	4		1			
15～19歳			1	54	1					1
20～29歳		1	28	265	1					
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	15	19	307	1612	157	5	17	75		2
先週比	-8	-20	-54	23	-19	-5	-5	-30	-2	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月				2		
～11か月		1		14		
1歳	1			58	1	
2歳	4	3		63		
3歳	3	1		107		
4歳	4			126		2
5歳	8			145		1
6歳	6			129		
7歳	8			111		
8歳	6			70		
9歳	1			70		
10～14歳	7			186		
15～19歳				58		
20～29歳				99		3
30～39歳				173		7
40～49歳				96		2
50～59歳				43		
60～69歳				12		2
70～79歳				5		1
80歳以上				1		
合計	48	5		1568	1	18
先週比	19	-4		-802	-1	2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2008年7週

	風しん	麻しん
0歳		3
1歳		1
2歳	1	2
3歳		1
4歳		
5歳		1
6歳		1
7歳		2
8歳		1
9歳		1
10～14歳		6
15～19歳	1	9
20～29歳		24
30～39歳	1	5
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	3	57

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年7週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				6			1			
中央区			11	19	6			3		
みなと		4	19	64	6			2		
新宿区	2		8	43	5			3		1
文京				17	3					
台東	2		6	35	2		1	3		
墨田区	1		5	20				3		
江東区			8	71	2			7		
品川区	1		7	113	2					
目黒区			1	30						
大田区	1	1	14	101	16			7		
世田谷		5	7	105	5		2	5		
渋谷区		2	2	43	1	1		2		
中野区			6	89	9		1	1		
杉並			1	74	4	1	1	1		
池袋			4	41	1					
北区				46	2			7		
荒川区			4	30	3			1		
板橋区			6	36	3		1			
練馬区		3	8	29	3			2		
足立		1	5	56	7			3		
葛飾区			9	31	17			2		
江戸川	2		25	87	7	1		4		1
八王子市	1	1	27	76	4		3	5		
西多摩	1		5	66	2					
南多摩	1		12	25	7		1	4		
町田			68	108	14	1	1	3		
多摩立川			3	30	6					
多摩府中			12	35	4	1	2	5		
多摩小平	1	2	24	86	16		3	2		
島しょ	2									
東京都合計	15	19	307	1,612	157	5	17	75	-	2

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2008年7週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				10		
中央区				9		2
みなと	2	1		16		
新宿区	2			39		1
文京				22		1
台東				11		
墨田区				29		
江東区				44		
品川区				28		
目黒区				4		2
大田区	3			115		
世田谷	16			66	1	1
渋谷区				18		1
中野区	2			49		
杉並	2			89		
池袋	1	1		29		
北区	2			31		
荒川区	1			13		
板橋区		1		40		
練馬区	2			55		4
足立	3			32		
葛飾区	1			71		
江戸川	3			103		1
八王子市		1		77		
西多摩	1			87		3
南多摩	1	1		69		
町田	4			54		
多摩立川				93		
多摩府中	2			133		1
多摩小平				132		1
島しょ						

東京都合計	48	5	-	1,568	1	18
-------	----	---	---	-------	---	----

	風しん	麻しん
千代田		2
中央区		
みなと		
新宿区		3
文京		
台東		
墨田区		1
江東区		1
品川区		1
目黒区		1
大田区		6
世田谷	1	4
渋谷区		1
中野区		3
杉並		1
池袋		1
北区		
荒川区		
板橋区		2
練馬区		2
足立		
葛飾区		5
江戸川		
八王子市	2	
西多摩		7
南多摩		3
町田		3
多摩立川		6
多摩府中		3
多摩小平		1
島しょ		

東京都合計	3	57
-------	---	----

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年7週

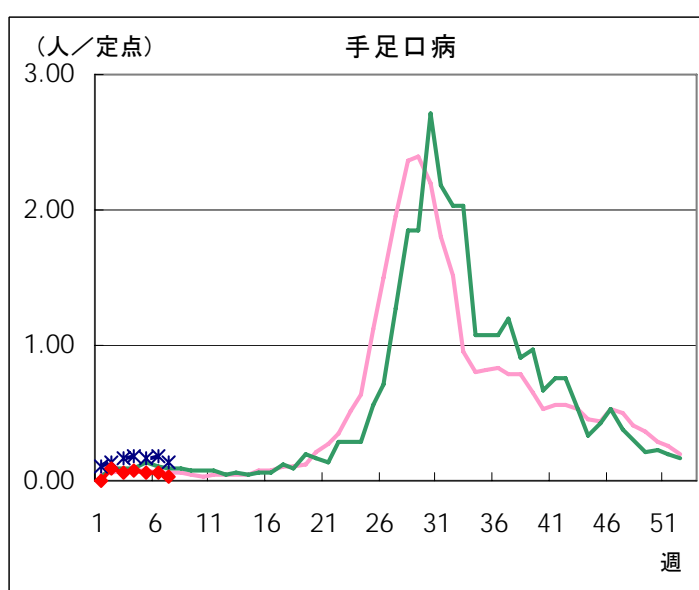
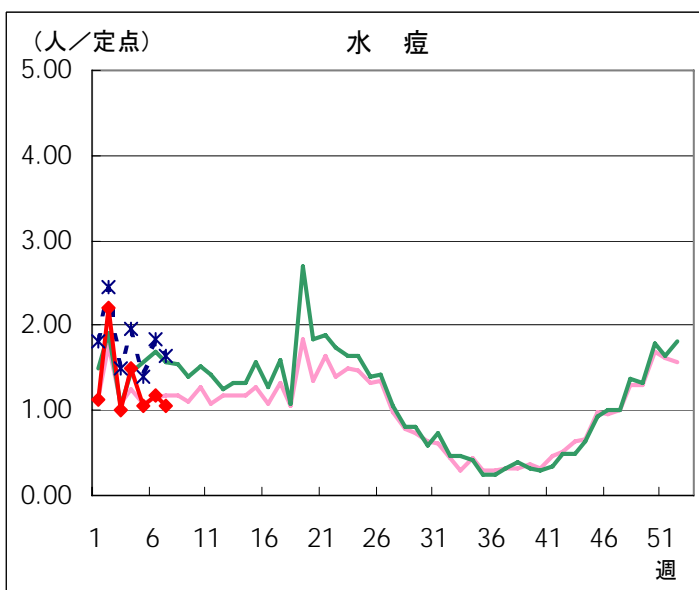
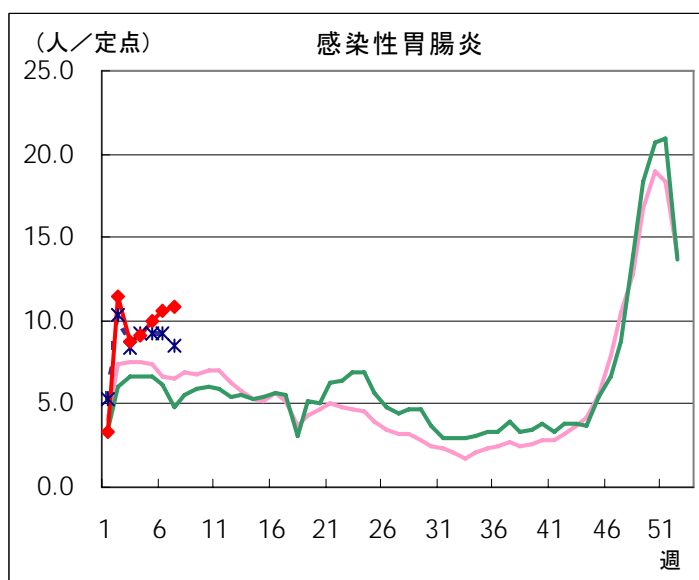
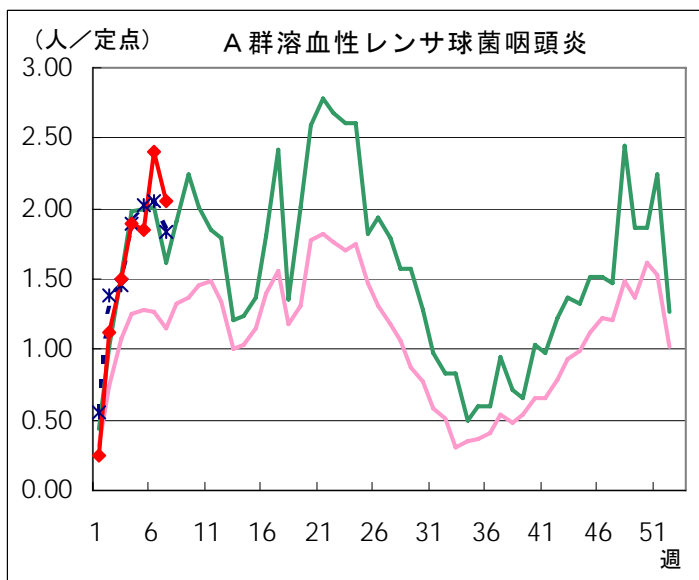
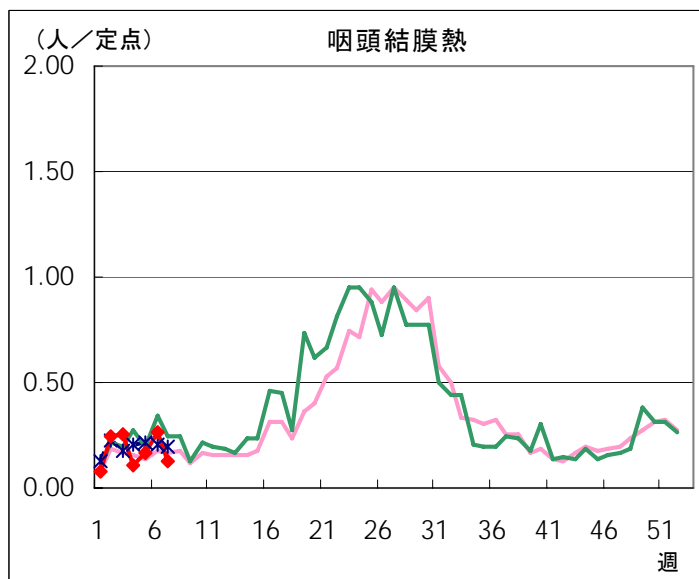
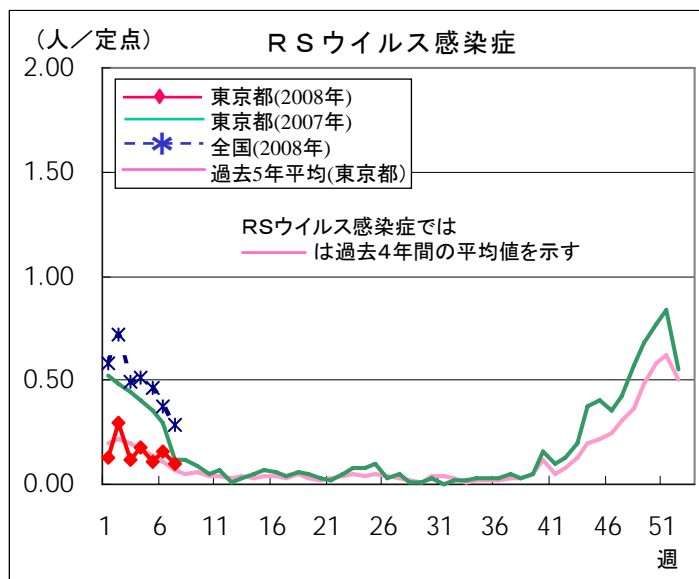
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				1.50			0.25			
中央区			3.67	6.33	2.00			1.00		
みなと		0.67	3.17	10.67	1.00			0.33		
新宿区	0.33		1.33	7.17	0.83			0.50		0.17
文京				5.67	1.00					
台東	0.67		2.00	11.67	0.67		0.33	1.00		
墨田区	0.33		1.67	6.67				1.00		
江東区			2.00	17.75	0.50			1.75		
品川区	0.17		1.17	18.83	0.33					
目黒区			0.33	10.00						
大田区	0.13	0.13	1.75	12.63	2.00			0.88		
世田谷		0.63	0.88	13.13	0.63		0.25	0.63		
渋谷区		0.50	0.50	10.75	0.25	0.25		0.50		
中野区			1.00	14.83	1.50		0.17	0.17		
杉並			0.17	12.33	0.67	0.17	0.17	0.17		
池袋			0.80	8.20	0.20					
北区				11.50	0.50			1.75		
荒川区			2.00	15.00	1.50			0.50		
板橋区			1.00	6.00	0.50		0.17			
練馬区		0.60	1.60	5.80	0.60			0.40		
足立		0.20	1.00	11.20	1.40			0.60		
葛飾区			2.25	7.75	4.25			0.50		
江戸川	0.40		5.00	17.40	1.40	0.20		0.80		0.20
八王子市	0.25	0.25	6.75	19.00	1.00		0.75	1.25		
西多摩	0.20		1.00	13.20	0.40					
南多摩	0.25		3.00	6.25	1.75		0.25	1.00		
町田			17.00	27.00	3.50	0.25	0.25	0.75		
多摩立川			0.50	5.00	1.00					
多摩府中			1.20	3.50	0.40	0.10	0.20	0.50		
多摩小平	0.17	0.33	4.00	14.33	2.67		0.50	0.33		
島しょ	2.00									
東京都	0.10	0.13	2.06	10.82	1.05	0.03	0.11	0.50	-	0.01

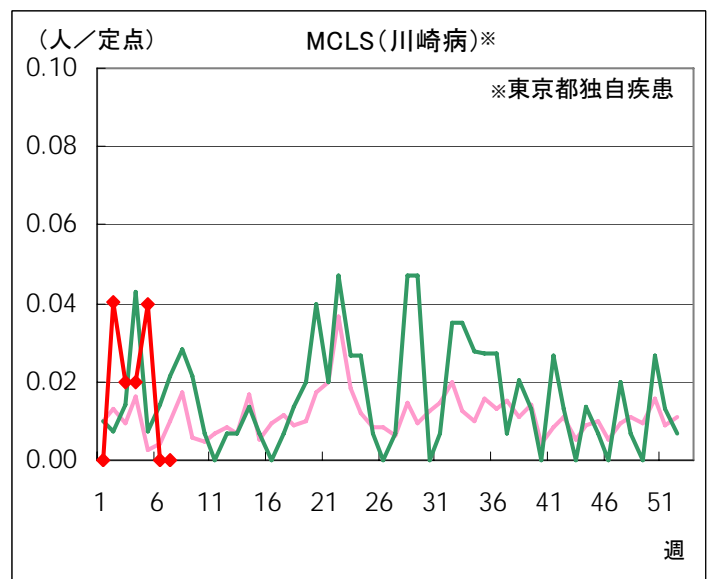
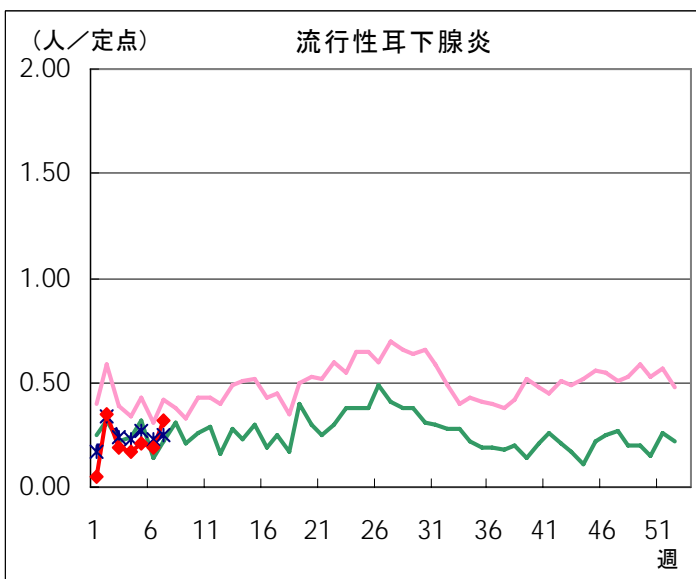
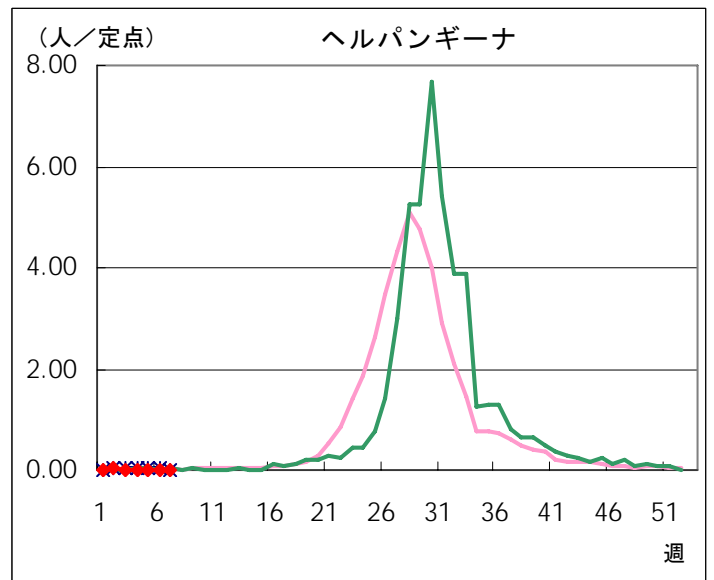
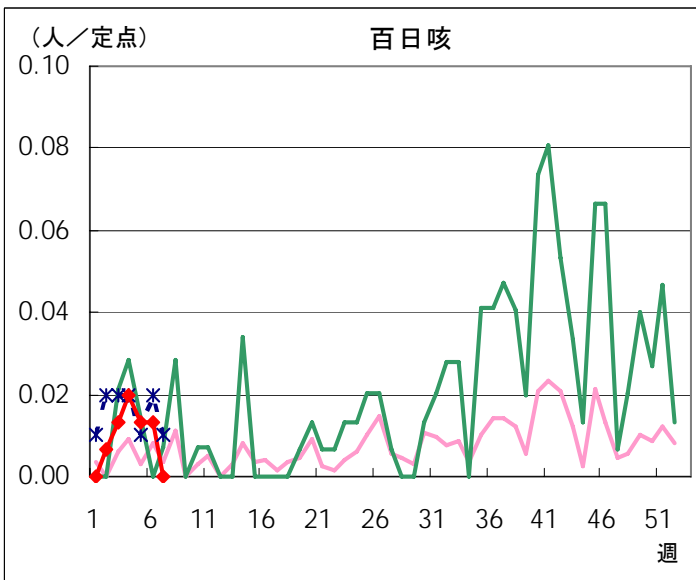
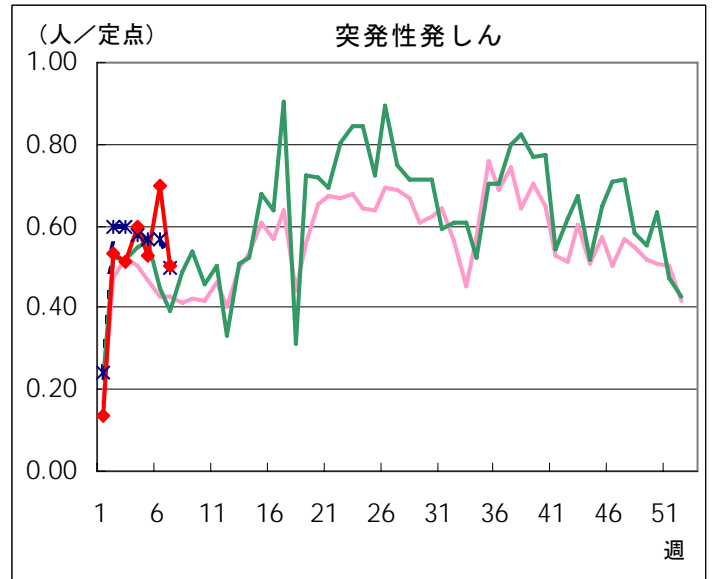
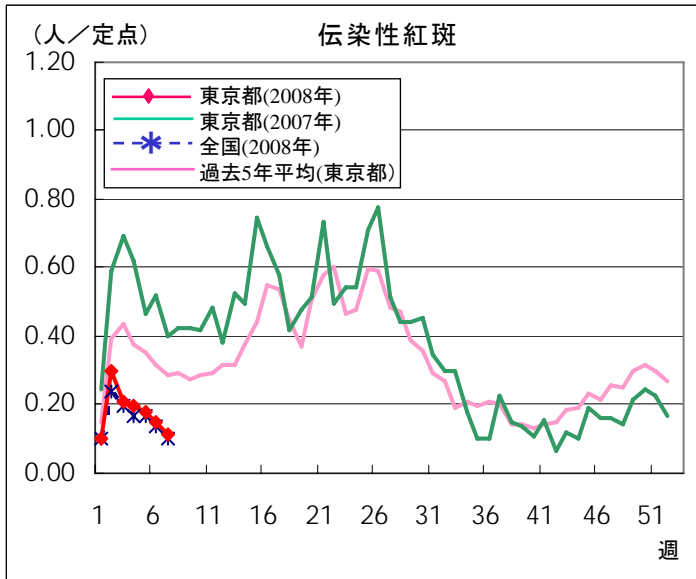
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)		流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎
千代田				2.00		
中央区				2.25		2.00
みなと	0.33	0.17		2.00		
新宿区	0.33			4.33		0.50
文京				4.40		1.00
台東				2.20		
墨田区				4.83		
江東区				4.89		
品川区				2.80		
目黒区				0.67		2.00
大田区	0.38			7.67		
世田谷	2.00			4.13	0.50	0.50
渋谷区				3.00		1.00
中野区	0.33			5.44		
杉並	0.33			7.42		
池袋	0.20	0.20		3.63		
北区	0.50			3.88		
荒川区	0.50			3.25		
板橋区		0.17		3.33		
練馬区	0.40			4.58		2.00
足立	0.60			2.91		
葛飾区	0.25			7.89		
江戸川	0.60			8.58		0.50
八王子市		0.25		7.70		
西多摩	0.20			9.67		3.00
南多摩	0.25	0.25		7.67		
町田	1.00			6.00		
多摩立川				7.15		
多摩府中	0.20			6.33		0.50
多摩小平				9.43		0.50
島しょ						

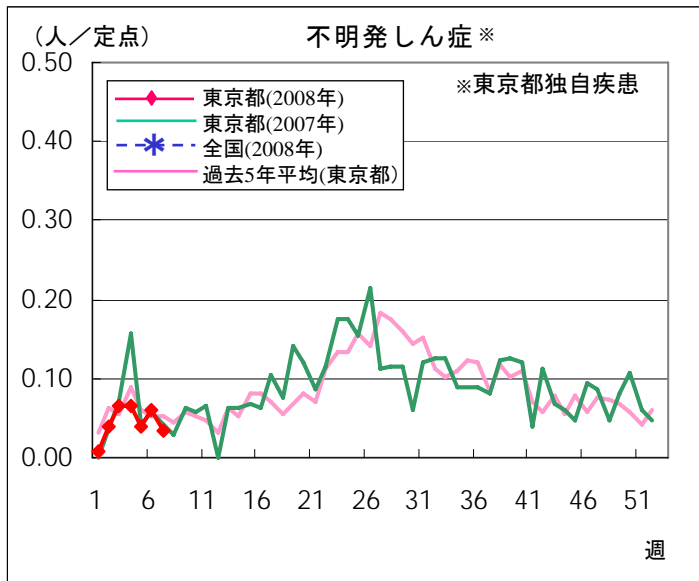
東京都	0.32	0.03	-	5.44	0.03	0.47
-----	------	------	---	------	------	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年7週現在

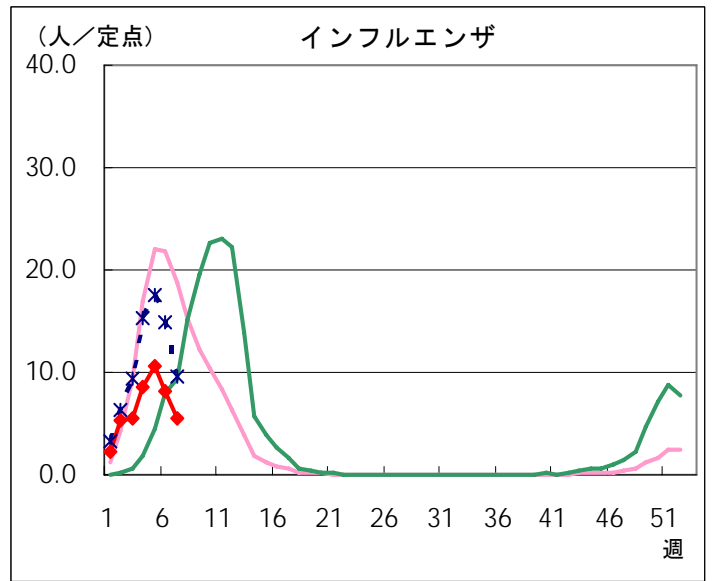
◆ 小児科定点



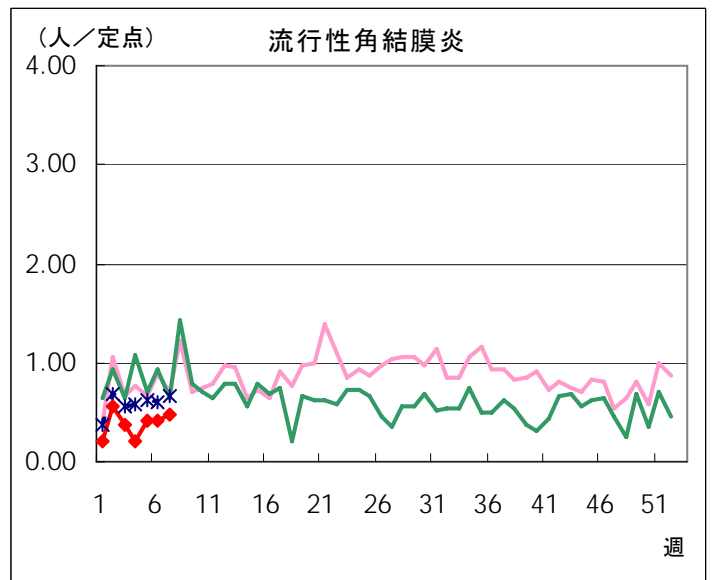
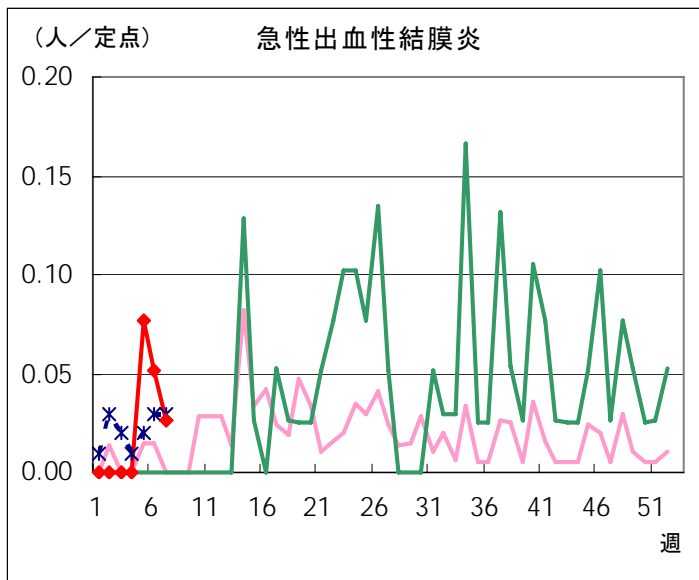




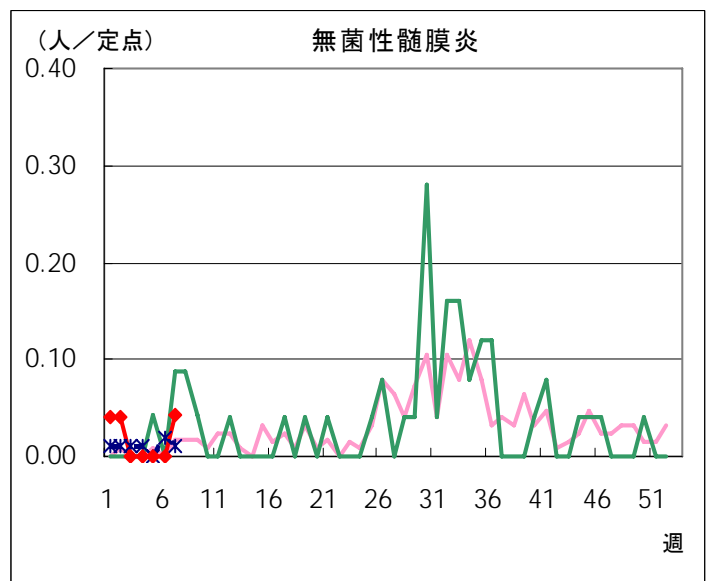
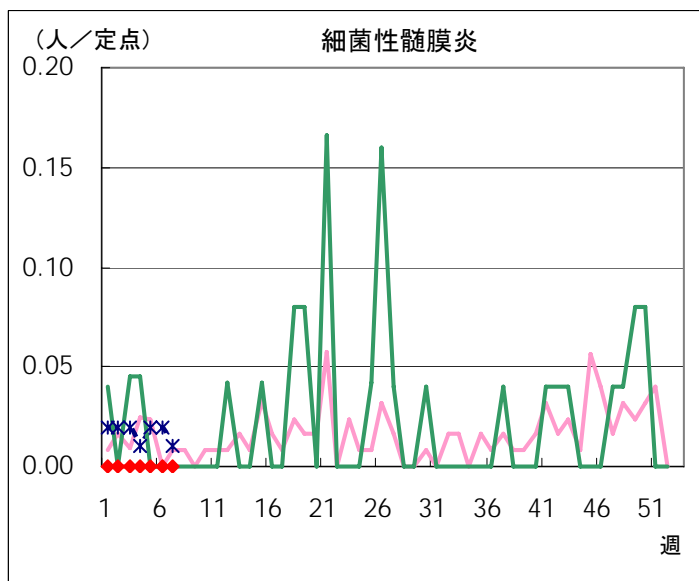
◆ インフルエンザ定点

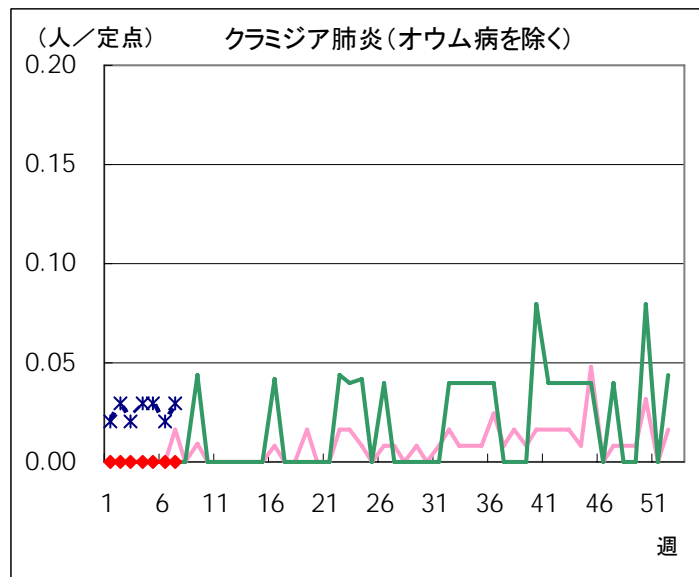
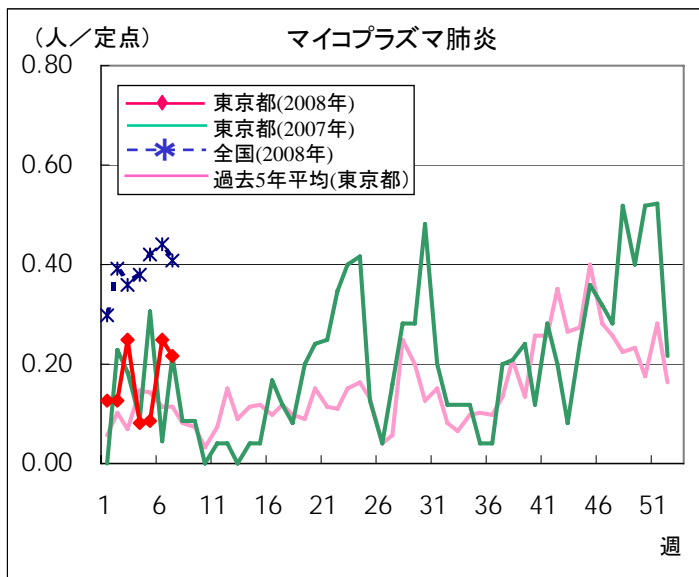


◆ 眼科定点

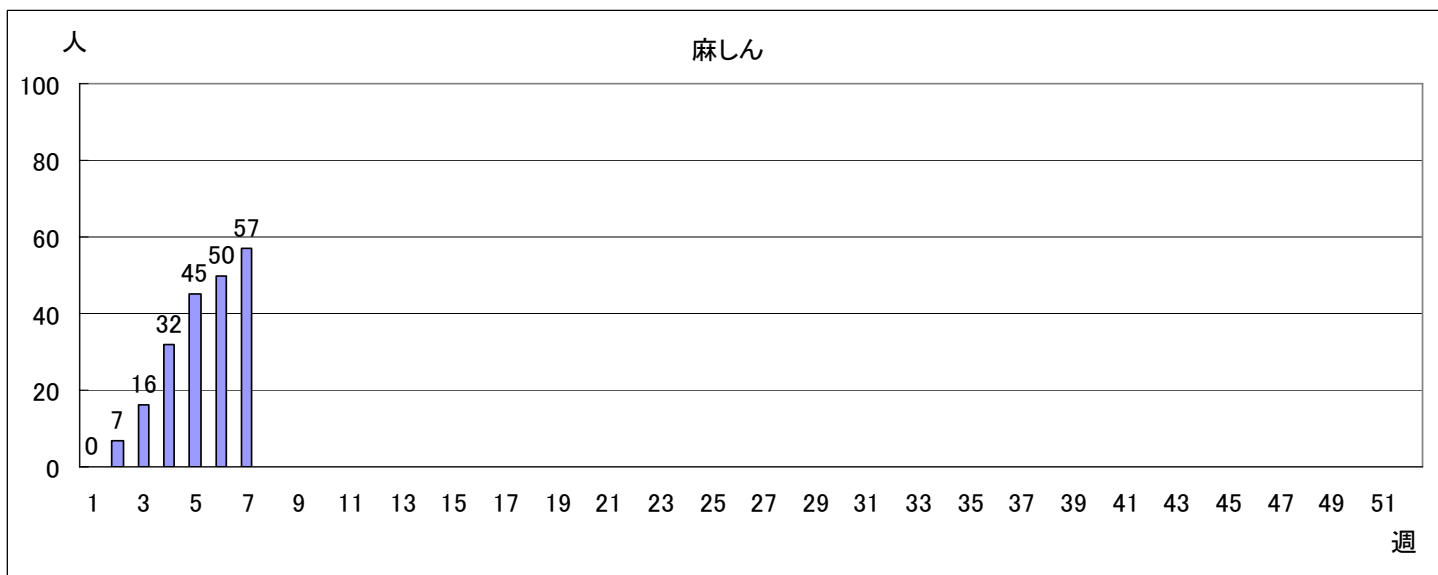


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年7週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	4		
	3		
文京	3		
	2		
台東	6		
墨田区	1		
	7	3	
品川区	11		
	2		
目黒区	1		
大田区	1		患者5名。うち1名はB型。 B型は36歳女性。 全員ワクチン接種済み。
		1	
	12	4	
	3	1	
	3		
	2		
世田谷		1	患者8名。B型1人。 患者12名。B型1名は6歳男児。
	4		
	7		
	3		
	6	1	
渋谷区	5		
中野区	5	4	他にA型とB型同時感染者1名。
	1		
	3		
	15	1	
		2	
	2		

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
池袋	1		
北区		3	
	8		
	2		
	6		
板橋区	6		
練馬区	4		他にA型とB型がともに陽性(ポクラムインフルエンザキット)の者3名。
足立	1		
	3		
西多摩		1	患者21名。B型1名は7歳男児。 患者7名。B型は4歳男児、5歳男児、30歳代男性、50代男性(5歳と30歳代は親子)。 B型は50歳代男性。
	17	1	
	4		
	4	1	
多摩立川			患者8名。B型は14歳女性、30歳女性。 患者7名。B型は40歳で全身症状軽い。 3歳男児と6歳男児は兄弟でともにワクチン接種済み。
	9		
多摩府中			急にインフルエンザの患者さんが減りました。 今週インフルエンザの報告なし。この寒気の時期に珍しいこと！ 患者13名。B型1名。A型B型同時感染の者1名。
多摩小平	5		
	16	1	
	4		
	6	1	
	3	1	
	17		
八王子市	14		
	20		
	2	1	
	5		
	11		
	14		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/31	流行性角結膜炎	34	結膜拭い液	アデノウイルス	遺伝子
2/1	急性細気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス アデノウイルス	
2/1	急性扁桃炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
2/1	急性上気道炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
2/1	インフルエンザ	10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/1	感染性胃腸炎	10M	糞便	エンテロウイルス	
2/1	けいれん	6M	糞便	ヒトヘルペスウイルス6型	
2/1	けいれん	6M	鼻腔粘膜	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
2/2	インフルエンザ	30	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/2	インフルエンザ	26	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/2	インフルエンザ	3	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/2	インフルエンザ	9	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/2	インフルエンザ	10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/2	インフルエンザ	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/2	感染性下痢症	18	直腸拭い液	ノロウイルス	
2/2	不明発しん症	4	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	
2/2	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 麻しんウイルス	
2/3	インフルエンザ	28	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/3	インフルエンザ	35	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/3	インフルエンザ	16	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/3	インフルエンザ	34	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
2/3	けいれん重積	1M	髄液	ヒトヘルペスウイルス6型	
2/4	流行性耳下腺炎	8	うがい液	アデノウイルス エンテロウイルス ムンプスウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法	
2/4	急性扁桃炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス	遺伝子	
2/4	インフルエンザ	6	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型		
2/4	インフルエンザ	33	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
2/4	インフルエンザ	26	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
2/4	インフルエンザ	24	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
2/4	インフルエンザ	10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型		
2/4	急性胃腸炎	6	糞便	サポウイルス		
2/4	急性胃腸炎	1	直腸拭い液	ロタウイルス	抗体	
2/5	ギランバレー症候群	82	咽頭拭い液	EBウイルス	遺伝子	
			髄液			
2/5	急性胃腸炎	9M	咽頭拭い液	アデノウイルス		
2/5	インフルエンザ	37	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
2/5	感染性腸炎	29	直腸拭い液	エンテロウイルス ノロウイルス		
2/5	発熱・咳・下痢・脱水	15	糞便	カンピロバクター・ジェジュニ		分離
2/5	胃腸炎	6	糞便	ノロウイルス		遺伝子
2/6	インフルエンザ	82	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
2/6	インフルエンザ	23	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
2/6	感染性胃腸炎	5M	糞便	エンテロウイルス		
2/7	インフルエンザ	25	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型		
2/7	インフルエンザ	14	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
記載無し	多形滲出性紅班	3	咽頭拭い液	アデノウイルス		
記載無し	咽頭扁桃炎 けいれん	1	咽頭拭い液	アデノウイルス		
記載無し	感染性胃腸炎	9	糞便	ノロウイルス		

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2007/2008年							
		50	51	52+1	2	3	4	5	6
ウイルス	アデノウイルス	20	10	1	2	3	5	5	9
	ライノウイルス	5	1	3	2	2	2	2	2
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	4	2		1			1	5
	単純ヘルペスウイルス			1		1			
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	2	2	1		2		1	4
	EBウイルス		2	1		3	1	2	2
	サイトメガロウイルス			1					
	ムンプスウイルス		1			2	1		1
	麻疹ウイルス								1
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19								1
	RSウイルス	13	8	3	8			3	1
	ノロウイルス	9	8	4	5	3	3	2	4
	ロタウイルス					2	1	1	1
インフルエンザウイルスAH1	5	22	8	25	13	10	18	19	
インフルエンザウイルスAH3				1		1	3	2	
インフルエンザウイルスB									
デングウイルス									
その他のウイルス		1	2				1		
細菌	カンピロバクター								1
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	その他の細菌	1	1						
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2007年50週～2008年6週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	177	25	54	80	27	1		9		1	2	9	13		1		116	
ウイルス	アデノウイルス	10	12	9	10			2			1	2	2				7	
	ライノウイルス	2	4	4	1								2				6	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス		2		5	1				1			1				3	
	単純ヘルペスウイルス																	2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7				1	1							3					7
	EBウイルス													8				3
	サイトメガロウイルス																	1
	ムンプスウイルス													5				
	麻疹しんウイルス												1					
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19												1					
	RSウイルス	2	6	26	1													1
ノロウイルス			1	35													2	
ロタウイルス				5														
インフルエンザウイルスAH1	118		2															
インフルエンザウイルスAH3	6	1																
インフルエンザウイルスB																		
デングウイルス																		
その他のウイルス			2	2														
細菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌																	
その他の細菌	1										1							
その他の病原体																		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2008年1月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	98	1.78	55	55
		女	115	2.09		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	55	1.00		
		女	37	0.67		
	尖圭コンジローマ	男	38	0.69		
		女	33	0.60		
	淋菌感染症	男	77	1.40		
		女	21	0.38		
	膣トリコモナス症*	男	2	0.04		
		女	14	0.25		
梅毒様疾患	男	2	0.04			
	女	0	0.00			
基 幹	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	27	1.13	24	24
		女	16	0.67		
	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	76	3.17		
		女	50	2.08		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	2	0.08		
		女	1	0.04		
2008/2/11集計						

* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(*Trichomonas vaginalis*)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

(定点医療機関からのコメント)

- ・25～29歳男性の尖型コンジローマと梅毒様疾患患者は同一人物

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2008年1月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	1	1	1	1		
20～24歳	15	2	3	15		
25～29歳	19	7	11	19	2	1
30～34歳	17	13	8	14		
35～39歳	17	5	6	9		
40～44歳	20	10	4	10		
45～49歳	4	5	2	3		
50～54歳	5	3	2	2		
55～59歳		4		2		
60～64歳		2	1	2		
65～69歳		1				
70歳～		2				1
合計	98	55	38	77	2	2
先月数	98	40	40	70	1	7
増減数	0	15	-2	7	1	-5

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳					1	
15～19歳	16	1	5	3		
20～24歳	32	7	5	8	1	
25～29歳	31	14	11	6	1	
30～34歳	19	5	3	2	3	
35～39歳	11	1	4	1	2	
40～44歳	5	2	1	1	1	
45～49歳			4		3	
50～54歳	1					
55～59歳		2				
60～64歳		2			1	
65～69歳		2				
70歳～		1			1	
合計	115	37	33	21	14	0
先月数	104	35	28	7	14	3
増減数	11	2	5	14	0	-3

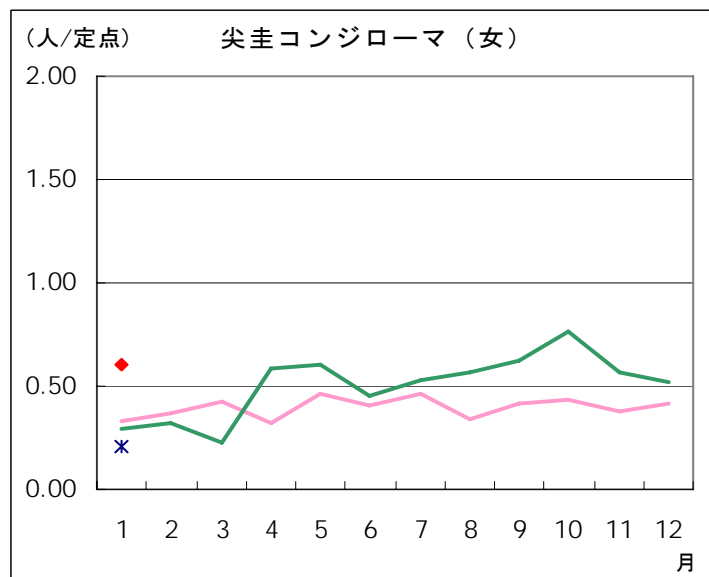
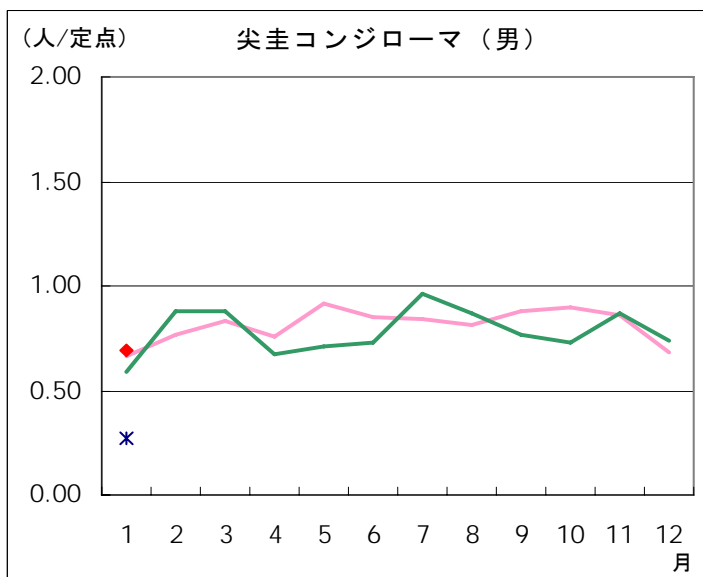
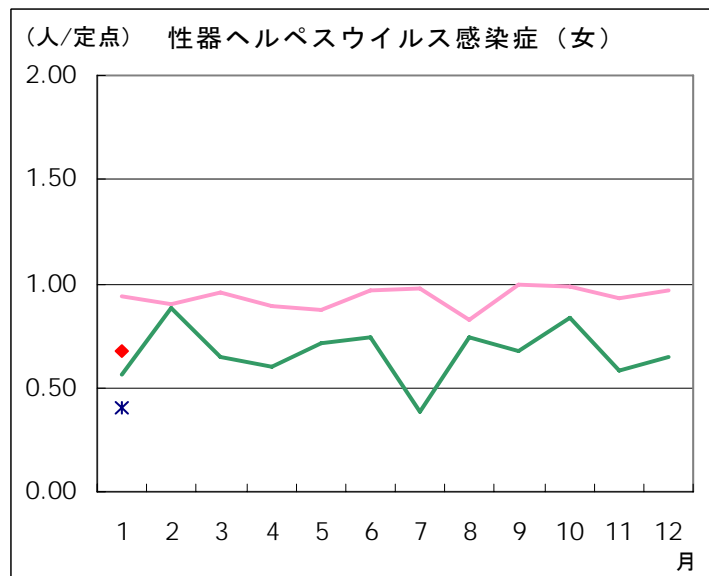
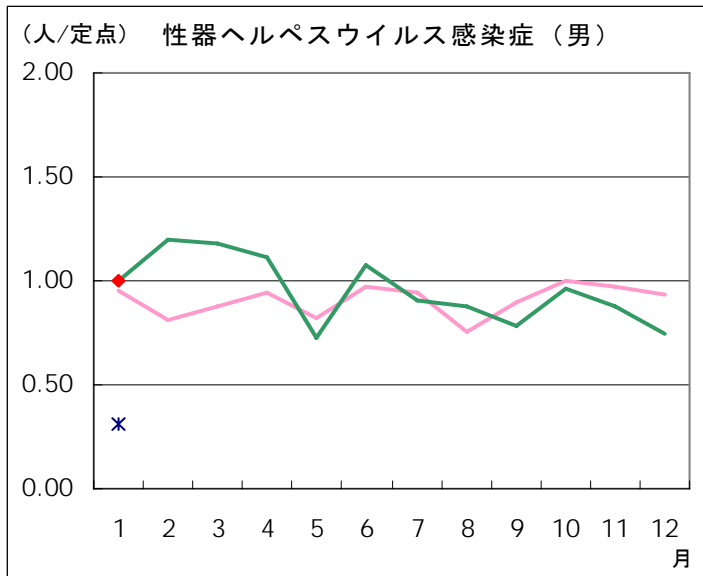
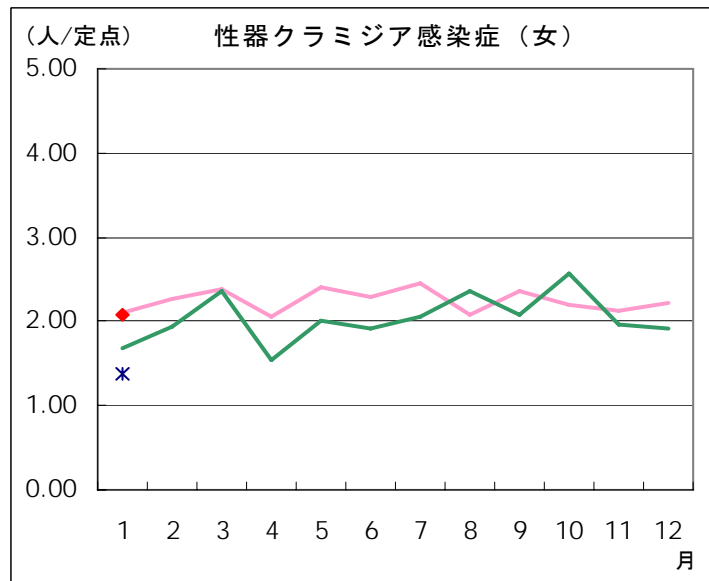
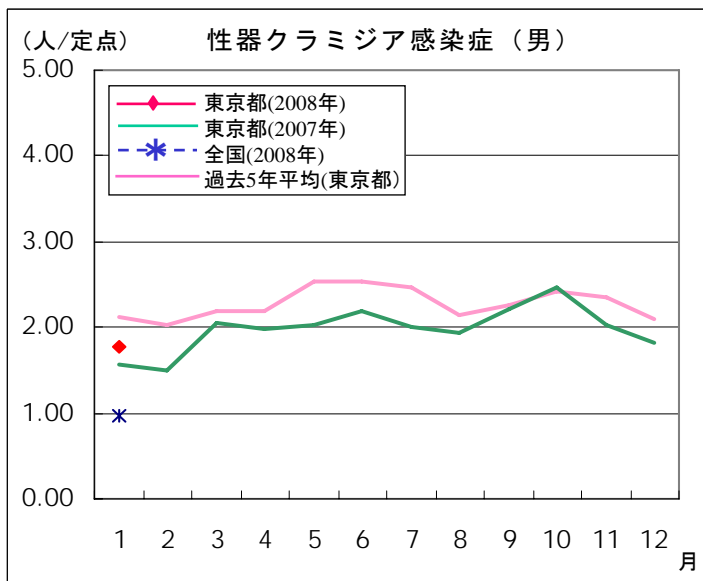
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2008年1月

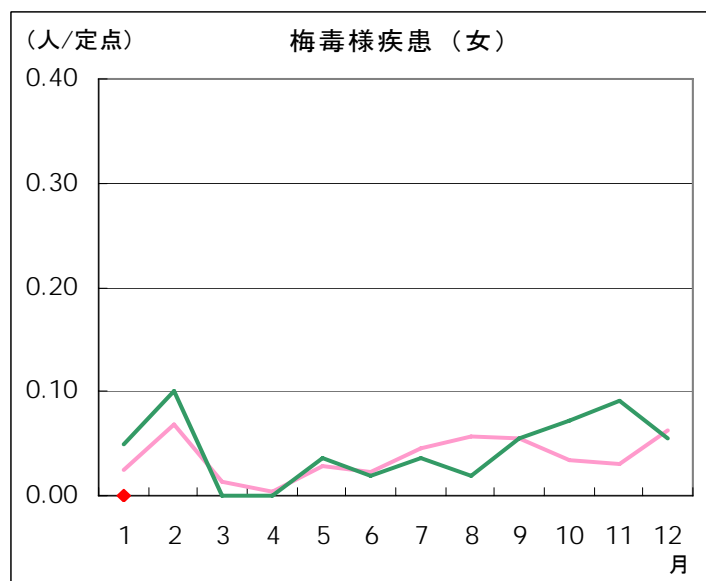
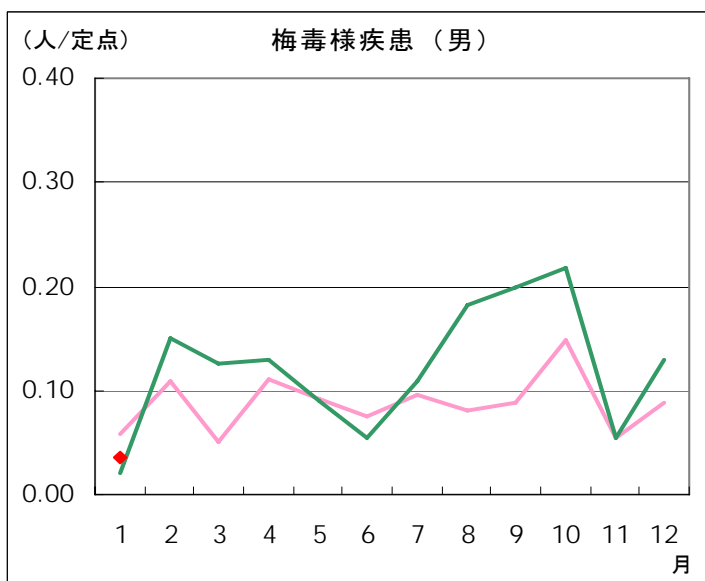
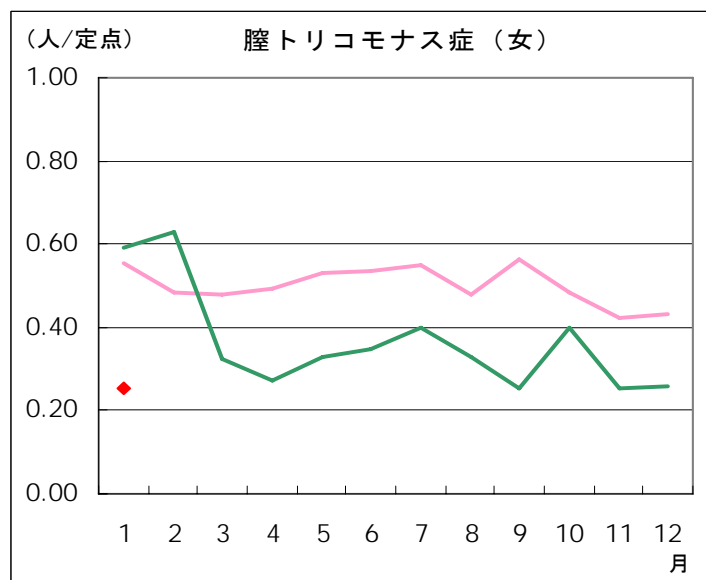
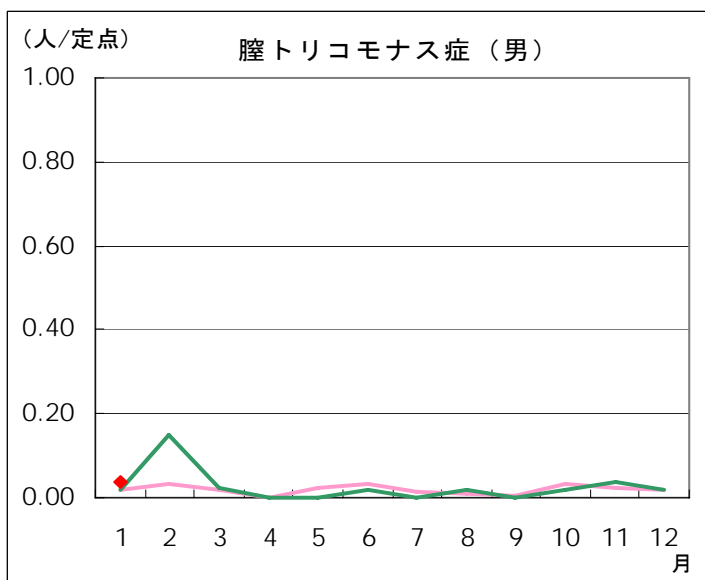
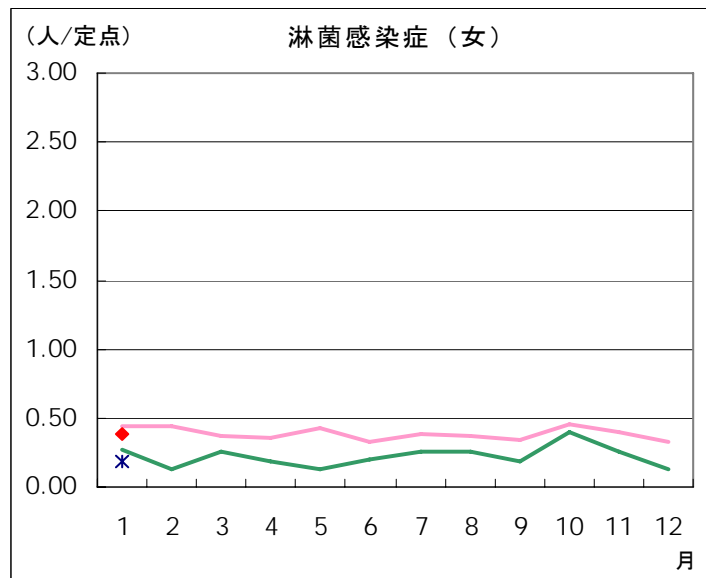
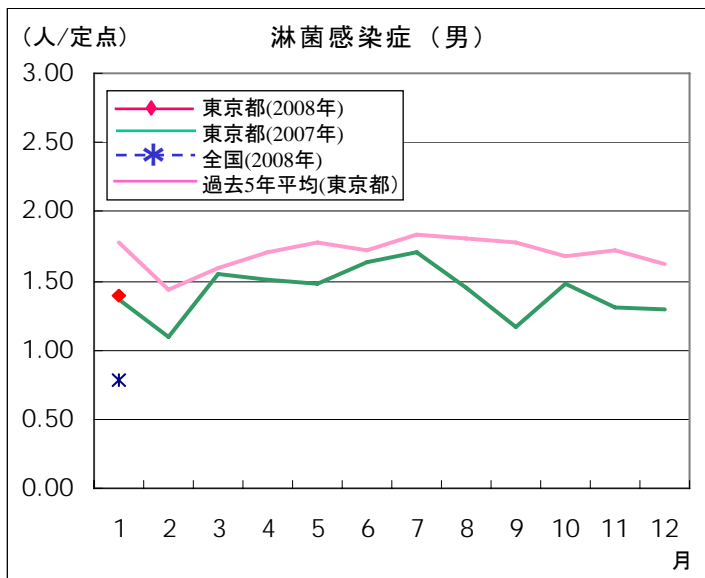
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	3	2	4	9		
中央区	3	2	1	1	3		
みなの	2	9	2	1		1	
新宿区	6	22	25	22	21		
文京	1	7	3		1	1	
台東	3	1	1		2		
墨田区	2	3	1	1	1		
江東区	2	11	8	1	6		
品川区	1				1		
大田区	2	2			3		
渋谷区	5	10	1		4		
中野区	2	2	3		8		1
杉並	2	5			2		
池袋	3	13	3	5	7		1
北区	1				1		
荒川区	1						
板橋区	2	2	1		2		
足立	2	1	1	2	4		
江戸川	2	3	3	1			
八王子市	4	1					
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3	1			2		
多摩小平	1						
合 計	55	98	55	38	77	2	2
定点当たり		1.78	1.00	0.69	1.40	0.04	0.04

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	2	1		2		
中央区	3	3		1			
みなの	2	16	7	2		1	
新宿区	6	9	2	8	3		
文京	1						
台東	3	13	5	1	2	3	
墨田区	2			2			
江東区	2	4			1		
品川区	1						
大田区	2	3					
渋谷区	5	4	8	11	2	1	
中野区	2	5		1	3		
杉並	2		1			1	
池袋	3	6	3	1	1		
北区	1						
荒川区	1	1	1	1		1	
板橋区	2	3	4	1		1	
足立	2	1					
江戸川	2	10		1	1	3	
八王子市	4	15	3		1	2	
町田	1				1	1	
多摩立川	2	17	1	3	4		
多摩府中	3	1	1				
多摩小平	1	2					
合 計	55	115	37	33	21	14	
定点当たり		2.09	0.67	0.60	0.38	0.25	

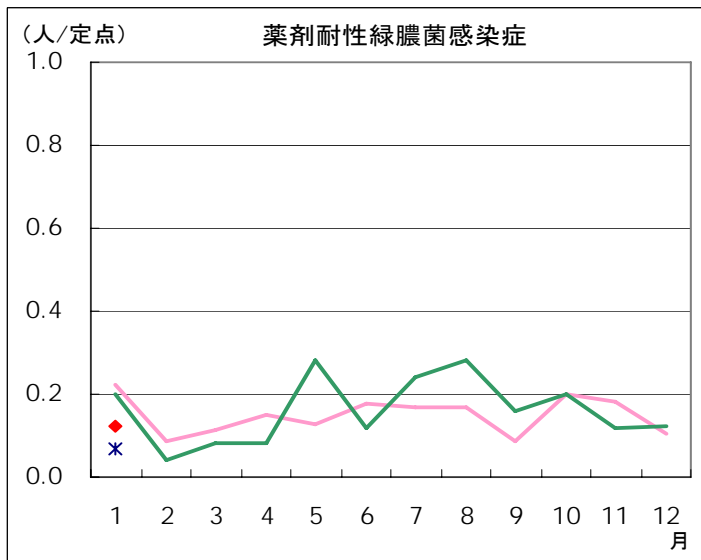
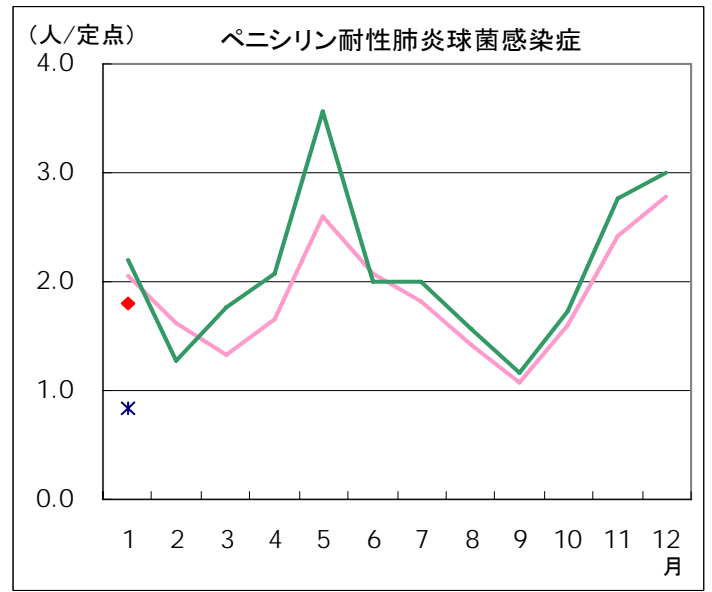
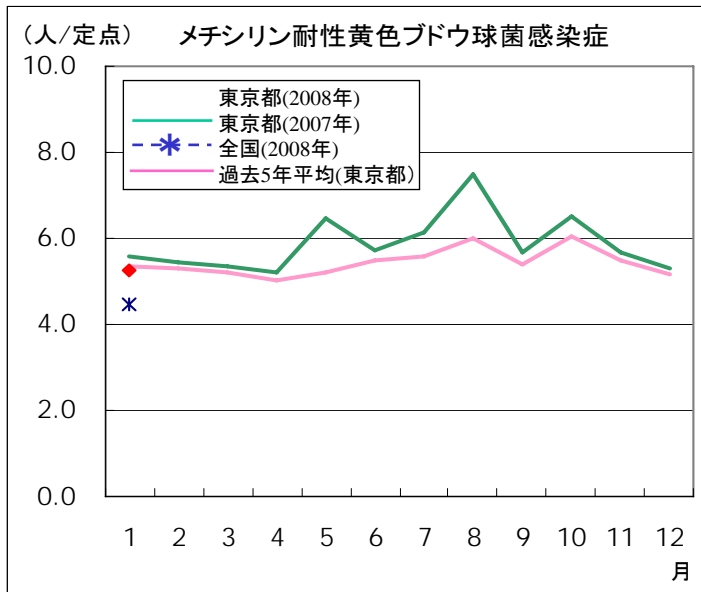
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2008年1月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検体試料	検出病原体	検査法
1/8	淋菌性尿道炎、 精巣上皮炎	54	男	尿	クラミジア	遺伝子
1/8	クラミジア	24	男	尿	クラミジア	遺伝子
1/8	陰茎ヘルペス	27	男	皮膚病巣	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
1/8	淋菌性尿道炎	46	男	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	淋菌	遺伝子 ・分離
1/9	尿道炎	32	男	尿	淋菌	遺伝子 ・分離
1/10	クラミジア性尿道炎	39	男	尿	クラミジア	遺伝子
1/15	膣炎	20	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	ヒトパピローマウイルス16型、 ヒトパピローマウイルス82型	遺伝子
1/15	(性感染症疑い)	24	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物、血清	ヒトパピローマウイルス16型 カンジダ	遺伝子 分離
1/16	ヘルペス疑い	42	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物、血清	ヒト単純ヘルペスウイルス2型 クラミジア	遺伝子 遺伝子
1/21	クラミジア膣炎	17	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	クラミジア、トリコモナス	遺伝子
1/21	陰茎ヘルペス	32	男	皮膚病巣	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	遺伝子
1/22	性器クラミジア	25	男	尿	クラミジア、淋菌	遺伝子
1/23	ヘルペス疑い	39	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物、血清	クラミジア	遺伝子
1/23	尿道炎	19	男	尿	クラミジア	遺伝子
1/23	淋菌性尿道炎	52	男	尿	クラミジア	遺伝子
1/23	性器クラミジア	37	男	尿	淋菌	遺伝子 ・分離
1/23	性器クラミジア	29	男	尿	淋菌	遺伝子
1/24	尿道炎	49	男	尿	クラミジア	遺伝子
1/28	陰茎コンジローム	38	男	陰部擦過	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子
1/28	淋菌性尿道炎	27	男	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子
1/29	コンジローマ (肛囲)	36	男	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	ヒトパピローマウイルス90型	遺伝子
1/30	非淋菌性尿道炎	42	男	尿	カンジダ	分離
1/30	膣炎	23	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物、血清	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	遺伝子
1/31	尿道炎	21	男	尿	淋菌	遺伝子 ・分離